

1. 評価結果概要表

作成日平成 21年 5月 23日

【評価実施概要】

事業所番号	2970600587
法人名	ホームケア株式会社
事業所名	ホームケア桜井
所在地	奈良県桜井市粟殿新町1007-11 (電話) 0744-49-3177
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成 21年 5月 11日

【情報提供票より】(21年 4月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 15日
ユニット数	1 ユニット
利用定員数計	9 人
職員数	8 人
	常勤 6 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 5.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造スレート葺造り 平屋建て
------	-------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,700 円	その他の経費(月額)	38,850 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	150,000円	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	100 円	昼食	300 円
	夕食	370 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(4月24日現在)

利用者人数	7名	男性	2名	女性	5名
要介護1	3名	要介護2	2名		
要介護3	名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	名		
年齢	平均 78.8 歳	最低	69 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	済生会中和病院・大福診療所
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>当ホームは、比較的交通も至便な住宅地の中に新設開所されています。ホーム内は清掃も行き届き清潔感があります。入居者は、特技や趣味等を活かしながら一人ひとりのリズムで穏やかに生活されています。また、近くに大型ショッピングセンターがあり、散歩を兼ねて買い物等を楽しまれています。職員は、個の尊重を念頭に入居者支援に努められています。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員の参画の下に自己評価が実施され、評価の意義・目的の浸透が図られてきています。また、運営推進会議への出席者の偏りが解消されつつあります。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義・目的を正しく理解され、自己評価に際しては、多くの職員が目的意識を持って参画されています。また、外部評価の結果を周知し、改善に活かす取り組みがなされています。ただ、評価結果が十分活かされていない部分が見受けられますので、課題の解決への取り組みを期待します。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は幅広いメンバーで構成され、定期的開催されています。会議では、入居者の状況等の報告と共に、運営上の課題や改善に向けた取り組み等について意見交換がなされ、開陳された意見等は検証し運営に活かす取り組みがなされています。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の訪問時等に、職員が積極的に話し掛け、不安に感じている事や意見・要望を聞きだす取り組みがあり、寄せられた意見等は記録され、会議に諮り必要な事項はサービスに反映されています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地元自治会に加入され、地域の行事への参加により住民との交流に広がりがみられます。しかし、日常的な関わりに希薄感が感じられますので一層の交流促進を期待します。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	個の尊厳と住み慣れた地域での生活の継続を基本とする理念が作られています。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のカンファレンス等で理念の共有化と実践に活かすための確認がなされています。また、簡潔な表現による理念の掲出もなされています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元自治会に加入され、地域の行事への参加により地域との交流に広がりが見られます。		地域との日常的な関わりに希薄感があります。ホームの持つ専門的知識や機能等の地域への還元や事業所行事への招待等を検討され、一層の地域住民との交流促進を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、自己評価には多くの職員が目的意識を持って参画されています。なお、外部評価の結果も周知し改善に活かす取り組みがなされています。		外部評価の結果を運営に活かす取り組みがなされていますが、活かされていない部分が見受けられますので、課題の解決への取り組みを期待します。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	幅広いメンバーで構成された運営推進会議は定期的開催され、入居者の状況報告等とともに、運営上の課題や改善に向けての取り組み等について意見交換がなされています。なお、開陳された意見等は検証し運営に活かす取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	制度改正以来、行政との連携は不可欠の思いがあり、運営上の相談や情報交換等のため頻りに訪問されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の訪問時等に、暮らしの様子や健康状態等について報告がなされています。また、毎月発行のホームだよりに行事の写真を添付し送付されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時等に職員が積極的に話し掛け、不安に感じている事や意見・要望等を聞きだす取り組みがなされています。寄せられた意見等は記録され、会議に諮り必要な事項はサービスに反映させる事とされています。		苦情や相談等のホーム内の担当者について契約時に説明されていますが、重要事項説明書等に明確な記載がなされていません。家族等の相談等に気安く応じるためには、この記載が望まれます。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動時には、入居者の混乱や不安を解消するため、新規職員に他の職員がサポートし、ダメージ防止に努められています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の育成には積極的な取り組みがあり、法人内の定期的な研修の実施と外部研修の機会の確保が図られています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の地域密着型サービス事業者と定期的に会議が持たれ、情報交換等によるサービスの質の向上への取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居は、本人の納得を基本とされ、見学時に入居者等との会話を楽しむ時間等を設け、全体の雰囲気にも馴染む環境を作り安定した移行に努められています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一人ひとりの経験・特技を活かし、また、想いに共感した支援に努められています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の生活歴等の把握と暮らしの中の言動等の観察・掌握に努め支援計画に活かされています。意思疎通が困難な方には、家族等から情報を得るようにし、カンファレンス等で本人本位に検討されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、より良い暮らしの維持・継続に資する為のものである事から、家族や関係者が相談・検討され作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、長期・短期の目標を設定し、6ヶ月に1回定期的に見直しされています。また、日々の丁寧なカンファレンスの中から必要に応じて変更・見直しが行われています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医の受診や一時帰宅時の送迎等を家族の状況を勘案して柔軟な支援が図られています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保されていますが、本人の希望を優先した支援に努められています。その時には、暮らしの状態等の情報提供がなされ、受診機関との連携も図られています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族等が重度化や終末期への関心の高い事を認識され、関係者が相談され明確な方針が樹立されており、職員にも周知・浸透が図られています。なお、24時間の医療機関との連携体制の整備があり、看取りの実績もあります。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個の尊厳が支援の大きな柱である事を職員は常に念頭に置き、一人ひとりに合わせた言動を心がけ支援されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活の流れの設定はありますが、本人の状態を見極め希望やペースを尊重した支援が図られています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力に合わせて食事の準備や後片付けに協働され、楽しく食事が出来る環境づくりへの工夫がなされています。なお、嚥下能力に合わせた調理もなされています。		入居者の食事支援を優先に考えて居られる事から、職員が同席されていますが同じ食事を一緒に摂られていません。このことも大切ですが、同じ物を一緒に食事する意義について再考される事を期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の設定はありますが、本人の希望やペースを優先した支援に努められています。		現在は希望者がおられない様ですが、夜間の入浴支援への検討を期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴等を参考に、特技・能力(調理・掃除・裁縫等)を活かせる機会を提供され、生きがいある暮らしの支援に工夫されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺散歩の日常化と共に、近くのスーパーへの買い物等外出機会の確保に努められています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害を正しく認識し、しっかりした見守りがなされ玄関は常に開放されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消火・避難訓練が実施されており、ホーム内の応援体制の整備と周辺住民への働きかけがなされています。		火災時には、入居者を迅速・安全に屋外へ誘導する事が求められます。このためには、周辺住民の協力は不可欠でありますので、積極的に働き掛け応援・協力体制の整備に努められる事を期待します。また、震災に備え飲料水等の非常時の必要物品の備蓄も検討下さい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況は詳細に記録され、栄養バランスについても、副食の宅配業者の献立表でチェックし健康管理に注意されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、さほど広くはありませんが各所の清掃も行き届き、異臭も無く清潔感があります。また、季節に応じた適度な装飾がなされ穏やかに過ごせる空間が確保されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具等が持ち込まれ、安心して過ごせる居室となっています。		